

HOME PARTY

2013年3月23日(土) - 24日(日)

会場：みずのき美術館・やまざき商店2階

開館時間：10:00 - 18:00

入館料：23日・24日は無料

主催：松花苑・みずのき美術館

共催：京都府南丹広域振興局

P

今村遼佑

河合晋平

砂連尾理

平野智之

丸毛浩嗣

宮川佑理子

森 太三

森川大輔

吉川敏明

みずのき美術館



みずのき美術館が迎えるはじめての春。

友人同士が集まったホームパーティーのように、リラックスした空間で、春の日差しとともにゆらぎ、影響しあう表現をお楽しみください。



1



2



3



4



5



6



7



8

関連イベント

○ 砂連尾理ダンス公演

23・24日いずれも15時～(約30分) 会場：みずのき美術館2階 定員：30名(先着順)
平野智之さんと宮川佑理子さんの絵をスコアに、ソロを踊ります

○ ワークショップ オルブミメシス・ヨープの創り方

— 玉浮きの存在物“オルブミメシス・ヨープ”をつくってみよう！

日時：3月24日(日)13時～14時半 会場：やまざき商店2階
講師：河合晋平 定員：20名(先着順) / 無料 小学生低学年以下の方は保護者同伴
なお、ワークショップで制作した存在物は、河合本人が仕上げ作業を行います。
お渡しは、約2週間後となります。
受付・詳細はみずのき美術館(0771-20-1888)までご連絡下さい。

○ アーティストトーク

23・24日いずれもダンス公演終了後(15時半ごろ) 会場：みずのき美術館2階
定員：40名



みずのき美術館

〒621-0861 京都府亀岡市北町18 [JR嵯峨野(山陰)線亀岡駅南口下車徒歩8分]
TEL 0771-20-1888 FAX 0771-20-1889 www.mizunoki-museum.org
※美術館に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
入館料：一般400円/高大生200円/中学生以下無料(23・24日以外) 休館日：月・火曜日(ただし祝日は開館)

作家略歴

今村遼佑(いまむらりょうすけ) [1]
1982年生まれ。京都府在住。美術作家。日常生活の中での記憶や感覚のもとに、主に小さな光や音などのささやかな現象を用いて、作品を作っています。

河合晋平(かわいしんべい) [2]
1971年生まれ。京都府在住。美術家。美術に使われるマチエールから日用品や食材までのあらゆる素材を、アートという環境の中で増殖し、成長し、衰退し、死滅する“存在物”に変え続けています。またその存在物には必ず名前を付け、10年以上も生物進化の歴史をしながらに系統だてて分類しています。

砂連尾理(じゃれおおさむ) [3]
1965年生まれ。大阪府在住。ダンサー・振付家。近年はソロ活動を展開し、舞台作品だけでなく障がいのある人や老人との作品制作やワークショップを手がける他、音楽家、臨床哲学者などと様々なプロジェクトを行う等、ジャンルの越境、文脈を横断する活動を行っています。

平野智之(ひらのともゆき) [4]
1987年生まれ。東京都在住。クラフト工房 La Mano所属。謎に満ちた「美保さん」。実は、平野さんが所属している施設の元スタッフがモデルです。様々なトラブルに巻き込まれながらも、あっけらかんと旅を続けて行くストーリーは、奇想天外な展開をみせます。靴が乗り物や殺虫剤などに変容し、ストーリーを別の次元へ導いて行きます。色鉛筆で丹念に塗り込まれた画面、絶妙のトリミング、その完成度の高さは作品への愛情が感じられます。ポロラート全国公募展vol.2で中村政人賞を受賞。

丸毛浩嗣(まるもひろつぐ) [5]
1973年生まれ。京都府在住。園芸ボランティアとしてみずのきに通っていた彼は、いつも、丁寧に包装した折り鶴や絵手紙のお土産を携えて、やってきました。

宮川佑理子(みやがわゆりこ) [6]
1987年生まれ。埼玉県在住。みぬま福祉会 川口太陽の家所属。「ぐる、ぐる」と声を出しながら、手の平をとおして伝わる絵の具と洗濯糊の感触に浸り、ゆっくりとテーブルに置かれた画面を動いていったそのあとが、「絵」になっています。

森太三(もりたいぞう) [7]
1974年生まれ。京都府在住。美術作家。個人の身体感覚によって生み出した「カタチ」の連なり。淡々と続ける手作業の連続によって作品が揺らぎ、まるで自然界の現象や風景のように見えた時、人間も自然の一部であるというあたりまえの事実が気付かれます。

森川大輔(もりかわだいすけ) [8]
1987年生まれ。京都府在住。みずらん所属。図鑑で目にとまった昆虫とお気に入りの通学バスを描いたら、パレットに残った絵の具を施設のあちこちに塗って回るのが、彼にとっての“絵のじかん”なのです。

吉川敏明(よしかわとしあき) [表面]
1947～1987年。「みずのき寮絵画教室」のメンバーであり、アール・ブリュット・コレクション(スイス/1994年)に3点が永久収蔵されました。